

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【児童主催の人権集会】	1月に全校児童で「人権集会」を行った。運営委員会の児童の企画運営による活動で、当日は体育館で運営協議委員会の方々と共に全校児童で実施した。運営委員長からの「人権とは何か」の説明、「桃太郎」の昔話を用いた「人権クイズ」、話の内容や台詞、絵等を児童達で考えて作った紙芝居「思いやりのない世界」の発表が行われた。集会後は、各クラスで思ったことや感想を発表し合い、ワークシートに記入した。その日から一週間「大久保人権ウィーク」が始まり、各学級の感想が毎日の給食時に放送で紹介された。また、人権集会で使用された紙芝居や資料は、人権コーナーに掲示され、いつでも目にすることができるようにした。 成果 運営委員会の児童による計画によって、人権集会が行われたので、低学年でも分かりやすい内容だった。また、身近な昔話から思いやりのない世界を想像させることで、改めて人に対してやさしくすること、思いやりをもつことの大切さ等、人権について考えることができた。また、お昼の放送で感想を紹介することで、さらに人権意識を高めることができた。また、友達や家庭、周りの多くの人々に支えられていることを再確認し、感謝の気持ちをもつとともに思いやりの心を育むことができた。 課題 次年度の内容を検討し、さらに人権に対する意識を高めていきたい。
2 実践2 【多様性に関する授業（ダイバーシティ）】	茨城県ダイバーシティ推進センターによるWebゲーム「ダイバーシティへの旅」シリーズを使って、性別や国籍、年齢、障害の有無等、多様な属性や個人の価値観を尊重する授業を行った。相手に対する思いやりや自分を大切にするという人権意識を高めると共に、ゲームを通して学習することで、楽しみながら人権に対しての知識も身に付けることができた。 成果 Webゲームというツールを使うことで、楽しみながら知識を広げると共に、人権に対しての意識が高まっていた。また、第2弾、第3弾とゲームが続くので、次の学びへの期待と、学びの継続ができることから、人権意識の継続にも役立つことができている。 課題 これからも、有効な指導法を取り入れ、児童一人一人の人権意識をさらに高めていきたい。